

平成25年度第3回男女共同参画審議会摘録

＜日 時＞ 平成26年3月24日（月） 午前10時から午前11時15分まで

＜場 所＞ 京都市男女共同参画センター ウィングス京都 2階 会議室1

＜出席者＞ 委員 稲垣 真咲（弁護士）
委員 井上 啓子（市民公募委員）
委員 大西 芳秀（日本労働組合総連合会京都府連合会副事務局長）
委員 表 真美（京都女子大学発達教育学部教授）
委員 高田 敏司（京都新聞社論説委員）
委員 田端 泰子（京都橘大学名誉教授）
委員 三山 雅子（同志社大学社会学部准教授）

＜五十音順 敬称略＞

＜傍聴者＞ 0名

＜議 題＞ 1 「男女共同参画に関するアンケート」調査票について
2 「配偶者等からの暴力に関する市民意識調査」調査票について
3 その他報告事項
(1) 平成26年度男女共同参画推進計画について
(2) 京都 style「真のワーク・ライフ・バランス」応援 WEBの開設について

＜内 容＞

1 「男女共同参画に関するアンケート」について

- 用語解説については、丁寧に記載されている。労働基準法が出来て深夜労働がなくなったことなど、経緯が知ってもらえて良い。
- 追加された問6選択肢9「組織のトップが男女共同参画に関する意識を変える」について、トップから順次という意味を込めて、組織のトップ「から」にしてはどうか。
- トップから組織の下の方まで浸透していくという意味を表すのであれば、「から」の方が良いと思う。
- 追加された問19選択肢11「マタニティ・ハラスメントを見たり聞いたりしたことがある」について、経験も聞いた方が良い。「見聞きしたり、受けたことがある」にしてはどうか。
- 問20（1）「あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたり、見聞きしたことがありますか」に、マタニティ・ハラスメントも併記してはどうか
- 問20（2）「あなたが受けたり見聞きしたりしたことは、どのような内容ですか。」で、セクハラの内容を聞いている。併記する場合は、内容にマタハラの内容を含める必要がある。マタハラについて、どれだけ詳しく調べるかによるが、今後働き続ける女性が増えると思うので、調べることは必要かもしれない。

- マタハラには「この忙しい時に産休を取るのか」など言葉の暴力や、子どもをたくさん産んだ人は昇進に不向き、責任ある立場につけないと考えられることなどがある。項目については検討して欲しい。
- （事務局）持ち帰り，検討する。
- アンケート票は全て回収するのか。用語解説の部分は手元に残してもらえるように別綴じにした方が良いのではないかな。
- （事務局）用語解説や相談機関連絡先等について，手元に置いてもらえる形での送付を検討する。

2 「配偶者等からの暴力に関する市民意識調査」について

- （事務局）関係機関からの御意見を基に問1に「されたくないのに，下着姿や裸の画像，動画を撮る」という選択肢の追加を検討している。
- 最近は動画を撮られるなど，深刻な相談も多い。そういう人を発見し，相談に繋げるためにも入れた方が良いかもしれない。
- 撮ること自体ではなく，例えば別れる時に脅しに使われるなど，撮る時は楽しんでいても後から問題となることもあり，難しい。
- 強要されるという表現を入れてはどうか。
- 撮ったり，インターネットに無断でアップされると併記してはどうか
- 相談窓口の情報はどこかに記載するのか。このアンケートをきっかけとして，DVについて気付く可能性もあるため，何らかの形で記載する方が良い。
- （事務局）前回調査同様，送付文に相談機関一覧を記載する。

3 その他報告事項

平成26年度男女共同参画推進計画及び京都 style「真のワーク・ライフ・バランス」応援 WEB の開設について報告をしたが，質疑は無かった。